

4 文字の組立て方と関連付けた指導について (3年)

<p>【板書事項】</p> <p>漢字を小さな部分に分けて おぼえよう</p> <p>「軽」をばらしておぼえよう 軽・・・十二画</p> <p>「部首は車 つくりは又を右に長くはらい 下に土」</p> <p>「宿」をばらしておぼえよう 宿・・・十一画</p> <p>「うかんむりの下に イを書いてとなり 百でできあがり」</p> <p>みんなも考えてみよう</p>		
<p>【指導の流れ】</p> <p>1 新出漢字を分解して唱えるように簡 単に書けることを知らせる。 『軽』という漢字を覚えましょう。部 首の車を書いて、横に片仮名の又の二 筆目を長く書きます。その下に土を書 いたらできあがり。」</p> <p>2 「わあ、簡単だね。やってみよう。」</p> <p>2 ゲーム的な要素を取り入れて、小さ な部分に分けさせる。 「次は宿という漢字です。うかんむりを 書いたら、その下にカタカナのイ。横 に百で宿のできあがり。歌のようにす ると楽しいね。」</p> <p>3 漢字を覚えるときに、分解して考え られるようになるまで、繰り返し行う。</p> <p>例 漢字の足し算 卅+日+十=草 一+口+ソ+一+一+ノ+目+八 =頭</p>		
<p>【留意点】</p> <p>1 漢字を小さな部分に分けて考え、それ ぞれを正確に書くようにする手立てであ る。</p> <p>2 漢字は、へん・つくり・かまえ・によ う・たれ・あしなどで構成されている。 その部分を正確に書けるようにしたい。</p> <p>3 児童に部分を見分けさせる。小さく分 解して考え、たし算のように組み立てさ せる。その際に、唱えて覚えることより楽 しく覚えられることを実感させる。</p> <p>4 ほかの漢字を分解する時に、これまで 学習した漢字に似ているところと違って いるところに気付かせたい。差異が分か れば漢字の組立てに注意をするようにな る。</p> <p>5 家庭での練習の仕方を工夫させる。</p> <p>参考文献 基礎学力をつけるワザコツヒケツ 柘屋雄三 フォーラムA</p>		